



Armonia

3羽のブラジル原産の絶滅危惧種ニョオウインコがボリビアのサンタクルス島を經由して密輸されていたところが発見されました。

バードライフ・ニュースバイト 第8号

2009年4月17日

密輸されたゴールド： 3羽のブラジルの絶滅危惧種ニョオウインコの若鳥がボリビアのサンタクルスで行なわれている不法なオウム類の取引の監視の一環で籠の中に捕らえられていたのが発見されました。この鳥は明かにボリビア経由でブラジルからペルーへ不法に運搬されるところでした。ボリビアでの野鳥の不法取引は依然として、アオキコンゴウインコ、アカミコンゴウインコ、スマレコンゴウインコなど多くの種にとって最も深刻な脅威です。しかし、ボリビアでの不法取引の影響を受けているのはどうやらボリビアの鳥だけではないようです。

カリフォルニアの IBA： オーデュボン協会カリフォルニア支部はボランティアによって記録された過去40年分の調査と地理的なデータをまとめました。砂漠、森林、海岸、洪水流域からなる4百万ヘクタールに及ぶカリフォルニア州145箇所のIBA(鳥を指標とする重要自然環境)の地図を作るためです。この地図はオーデュボンのウェブサイトに掲載されていて、それぞれの地域の歴史、鳥類学上の重要性、重大な脅威などに関する詳細な記述が含まれて居ます。カリフォルニアに生息する310種の鳥のうちの110種が今後数十年の間に気候変動により大きく減少することが予測されることから、オーデュボン・カリフォルニアのIBAプログラム担当部長のアンドレア・ジョーンズによれば、オーデュボンの職員はこの地図を“どなたとも”積極的に共有しています。

ハッピーバースデー ベリーズ・オーデュボン： 創立40周年と環境保全課題2008-2013の制作を記念して、ベリーズ・オーデュボン協会(ベリーズのバードライフ・パートナー)が環境サミットを主催することになりました。このサミットはベリーズに影響を与える重要な環境問題について同国の若者が書いた論文を軸に行なわれます。論文は環境課題2008-2013に対して、その主題や、より重要なのはベリーズの環境に対する懸念、関連性、国民への意味などを与えるものとされています。論文は学生たちが「なぜこの問題はベリーズ国民にとって重要で、関係があるのか」ということを問うことの反映に

なるものです。その最終目的は環境課題の主題が持つ意味合いを学生たちが明らかにして、彼らにそれをどのように感じたり考えたりさせることにあるのです。

トルコの新しい蝶の本： 鱗翅類研究家（蝶と蛾の研究家）はトルコでは数十人の蝶のウォッチャーが居るだけで、それぞれが離れて場所に居ます。しかし彼らの注目している対象はたくさん居ます。Doğa Derneği（トルコのバードライフ・パートナー）ではトルコに生息する全ての蝶の情報と図版が掲載された新しい蝶のフィールドガイド“トルコの蝶 ハンドブック”により蝶への興味を集めたいと望んでいます。トルコではおよそ 400 種の蝶が記録されており、そのうち 253 種については新しいカラフルな報告書“トルコの蝶 2008 年度年鑑”に特集されています。この報告書は蝶の愛好家と写真家による小グループ Kelebek-Türk Gözlemciler Grubu（トルコ蝶観察者グループ）がまとめたもので、蝶への一般の人たちの興味を促進することにより自然保護計画の助けとすることを目的にして毎年更新される予定です。また同グループはイズミールのエーゲ海地方で 13 種の新種を同定し、学会が蝶の種に関する論文を作成するのを助けました。

新しいグーグル・アースのレイヤーでどこに建設すべきか(または、しないべきか)が分かります： オーデュボン協会(米国のパートナー)と天然資源保護評議会はグーグルの地球チャレンジ助成金の支援を得て米国西部 13 州のグーグル・アース地図を作るために協力しました。この新しいオンラインの地図プロジェクトは、場所の決定をする際に役立つ事により再生可能なエネルギーの計画や開発を助けるでしょう。このプログラムは産業界、自然保護活動家、政策決定者にとって、再生可能な発電および送電設備に適切な場所を選定する際の手引きとなる、野生生物、生息地、土地管理のための地図に直ちにアクセスできるものです。地図は土地使用が法的に制限されている地域を特定します。オーデュボン協会はワイオミング州とモンタナ州のキジオリャイチョウの繁殖地に焦点を絞ります。他のデータのレイヤーでは野生生物にとって必須の環境などを含む、電力開を進める上で避けねばならない地域を明らかにしています。電力開発が提案されている場所のような、特定の地域を探すグーグル・アースの使用者は、法律で立ち入り禁止となっている土地がほとんど無いことや、残された土地のどれが特別な保全をする価値がある独特の特性があるかを一目で見ることが出来ます。

カカポの個体数が 100 を超えた： 絶滅危惧 I A 類のフクロウオウム(通称:カカポ)を守ろうという長期に亘り続けているキャンペーンが新段階を迎え、最近地球上の個体数が 100 羽を突破したことが確認されました。ニュージーランド保護局のカカポ復活チームは今年スチュアート島沖のカカポ・サンクチュアリがあるフェヌアフ島(別名:コッドフィッシュ島)で合計 37 羽のヒナが生まれたことを観察してきました。カカポの合計数は 125 羽となり、これは 10 年少し前の数の倍以上です。生憎この島には成熟したリム・フルーツが十分ではないために 21 羽のヒナは生き残ることを確実にするために特別な人工飼育場に移されました。

渡りへの障害: 2009年世界渡り鳥の日では鳥の渡りへの人工の障害物による脅威に焦点を当て、また渡り鳥が移動の途上で会う困難やともすると過小評価される状態に対する人々の注意を喚起することに目標を置きます。2009年5月9日と10日の週末に開催される世界中での渡り鳥のお祭りに参加を希望される方は、バードライフ・インターナショナルのホームページをご覧ください。

詳細はこちら(本部HP)

http://www.birdlife.org/news/news/2009/04/news_byte_8.html